

◆活動報告◆

読書の話

外出が難しい日々、せめて充実したおうち（屋内）生活を送りたいものです。センター利用者の皆さまも、ゲームや談話交流等、様々に過ごしていらっしゃいます。今回は読書好きな3名の方に、読書の楽しみについてお話を伺いました。違う時代に思いを馳せたり、自分の世界を広げたり、ファンタジーを身近に感じたり、三者三様の楽しみ方が印象的でした。本を読むときと、読書体験を共有するとき、一粒で二度おいしい読書の楽しみです。

山本周五郎や司馬遼太郎の時代小説をよく読みます。時代背景を含めて、主人公の意図を考えて読むと、この人の生き方はすごい、と思います。自分だったらどうするか考えるのも楽しいです。幕末物は意外と時代が近くて、ほんの一昔前はちょんまげだったのかぁ、と思います。



真さん



DIXさん

100分de名著を見て、色々読むようになりました。今は大河ドラマの渋沢栄一の『論語と算盤』を読んでいます。今の時代に合わせた解釈が面白いです。そこから興味を持って、『論語』も読み始めました。読書を通して、今まで興味を持たなかったことにも興味が出てきました。新しい自分の方向性が見つかりそうに感じています。



ジャンル問わず何でも読みます。人生最初に自分で買った本は、エンデの『果てしない物語』でした。物語に登場するのと同じ、ハードカバーの本が欲しくて買いました。お勧めは夏ということで、京極夏彦の京極堂シリーズです。あるかもしれないホラー、すぐそこにある生ぬるい感じを楽しんでください。



N氏

